

事務事業名		公園管理事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	050204000770
				単独/補助	単独		060201
政策体系上の位置付け				主要事業		所属課	都市整備課
総合計画の施策名		0502 住環境の整備と景観形成					
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり		市長マニフェスト			
施策名		02 住環境の整備と景観形成		未来PJ事業		グループ	
手段名		04 ④公園の維持管理		合併建設計画事業		整備・管理G	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	08	04	02	01	00	公園事業
法令根拠				都市公園法・桜川市公園条例		単年度繰返し (年度~)	
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

〔Do〕 1. 事務事業の現状把握(その1)

①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
管理している都市公園は11ヶ所(西小高児童公園・岩瀬中央児童公園・磯部桜川公園・北1号公園・南1号公園・北3号公園・明日香公園・新宿児童公園・原方児童公園・みかげスポーツ公園・台山高森工業団地公園)がある。(真壁中央児童公園は文化生涯学習課、岩瀬総合運動公園はスポーツ振興課で管理)その他の公園は12ヶ所(羽黒駅前公園・上野原公園広場・星の宮公園・友部住宅団地公園・岩瀬駅前広場・仲町児童公園・つくば真壁工業団地公園・紫尾住宅団地公園・まほろば公園・花の入公園・高久住宅団地公園・グリーンパルク)がある。これらの公園の施設、遊具、樹木等の剪定、除草、清掃等を業務委託し管理している。老朽化より安全性を確保できなくなった公園施設・遊具の大規模の修繕を推進するにあたり、社会資本整備総合交付金(長寿命化計画・長寿命化事業)の利用を図る。	施設管理に関する契約の事務。契約施設の維持管理が適切に行われているかの確認。 社会資本整備総合交付金事業および長寿命化事業のため担当部局と調整をし事業を執行した。 公園内の樹木・寄せ植え等の剪定を実施するとともに、遊具等の公園施設も点検して維持管理を行う。また、害虫駆除等についても随時行い、地域住民の安全確保を行う。		

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移


①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施設管理に関する契約の事務及び委託業務の確認。 公園内の樹木・寄せ植え等の剪定を実施及び遊具等の公園施設も点検して維持管理を行う。また、害虫駆除等についても随時行い、地域住民の安全確保を行う。	維持管理済み面積	m ²	286,385.00	286,385.00	286,385.00	286,385.00	0.00
	管理している公園数	箇所	23.00	23.00	23.00	23.00	0.00
	委託による遊具の点検を行った公園数	箇所	12.00	12.00	12.00	12.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
公園を利用する桜川市民	桜川市の人口	人	42,000.00	41,298.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
安全快適に利用してもらう。	公園での事故件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	公園での苦情件数	件	7.00	5.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源	内訳	28年度		29年度		30年度		期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(計画)			
			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	1,524	1,524	1,594	0	0	
			一般財源	千円	34,691	33,646	76,873	0	0	
			事業費計(A)	千円	36,215	35,170	78,467	0	0	
	人員費		正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人			
		述べ業務時間	時間	1,520.00	1,520.00	1,520.00				
			人件費計(B)	千円	4,446	4,446	4,446			
			トータルコスト(A)+(B)	千円	40,661	39,616	82,913			

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	3,767		11 需用費	4,631	
	12 役務費	241		12 役務費	239	
	13 委託料	25,418		13 委託料	28,157	
	14 使用料及び賃借料	2,285		14 使用料及び賃借料	2,350	
	15 工事請負費	3,435		15 工事請負費	43,000	
	16 原材料費	24		16 原材料費	90	
	合計		35,170	合計		78,467

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	公園管理事業	事務事業No.	50204000770	所属課	都市整備課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
地元高齢者や子供たちが多く利用している公園で、町村合併により公園緑地係ができたことに伴い管理運営事業を開始した。公園内樹木、寄せ植え等の剪定、除草や清掃、花壇の整備等を行い、公衆トイレも週3回の清掃委託も実施しているため事業開始以前より安全で快適に利用できる公園となった。 老朽化及び震災により安全性を確保できなくなった公園施設・遊具に対して、施設の長寿命化を図るため修繕事業を行う。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
遊具を充実させ保守点検を実施して安全に利用できるように施設の維持管理をしてほしいとの要望がある。大規模修繕時は、財政面から国保補助事業を利用するよう要望がある。つくば真壁工業団内に設置してある工業用水用の給・配水井戸の老朽化により送水できない状況が発生し急ぎで改修し対応したが、立地企業に安定して工業用水を供給してほしいとの要望がある。 各公園内の屋外トイレの老朽化が進み、公園利用者から改修してほしいとの要望が寄せられている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	公園内の樹木の巨大化および老朽化に伴い、剪定及び伐採が必要となってきているが、財政上なかなか予算が取れない状況である。職員でできるものはなるべく職員が行えるようにするが、そうでないものについては、優先順位をつけて予算どりをを行い実施する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者や子供たちなどの桜川市民が安全で快適に公園を利用し憩いの場となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 不特定多数の市民が利用しているので、市で管理するのが妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 市民が安心して利用できるように管理しており、向上の余地がない。
効率性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の憩いの場としての利用目的であるため、管理を続ける必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業は特になし。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 安全で快適な住環境を保つための必要回数で委託しているので削減するのは難しい。また、限られた予算内で市民が安全で快適な住環境を保つためには、職員自ら除草、剪定、伐採等を行う場合があり、人員削減の余地がない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 多くの桜川市民が利用する公園の管理事業であり、公正公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	公園遊具等での事故が報道されるが重大事故にあっては、誤った遊具の使用でさえ管理責任が問われることを認識し、常に遊具の安全管理には十分注意しなければならない。安全管理上、各公園の樹木の剪定及び伐採を行った。磯部桜川公園は名勝指定されているが、原状では樹木の管理が困難である。西小境児童公園屋外トイレ改修工事を実施した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
公園内の屋外トイレの老朽化により、利用者から改修の要望が出ているため、改修の優先順位を決め計画的に改修を進める。 磯部桜川公園については、関係各課協議し管理区分について検討が必要。(名勝部分と名勝以外) 公園内の樹木の巨大化および老朽化に伴い、剪定及び伐採が必要となっているが、財政上予算取りが困難。職員が対応できるものは直営で実施し、対応できないものについては、優先順位をつけて実施する。危険を及ぼす恐れのあるものは随時実施していく。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>